

美観を向上できるリフレッシュ塗装を募集しています。

募集期間：平成 22 年 3 月 31 日から平成 22 年 4 月 23 日まで

1、概要

1) リフレッシュ塗装の概要

首都高速道路（株）では、桁、橋脚を塗装し美観向上ができるリフレッシュ塗装を募集します。通常は橋梁の防食および美観の維持を目的とし、塗替えは 4 工程が必要となります。但し、都心に位置する首都高速道路は景観向上を目的とした塗替えの必然性も高いことから、塗膜が健全でも変退色により美観を損なった場合に適用できる塗装の導入を考えています。リフレッシュ塗装とは、既設構造物によく付着していて、さび、ふくれ、われなどが無く保護性能を充分保持している健全な塗膜状態の既設桁・橋脚を早期に塗替えを完了させるため、省工程で、完成することができる塗装を意味しています。

皆様の技術情報をお待ちしております。

塗装前



リフレッシュ塗装後(イメージ)

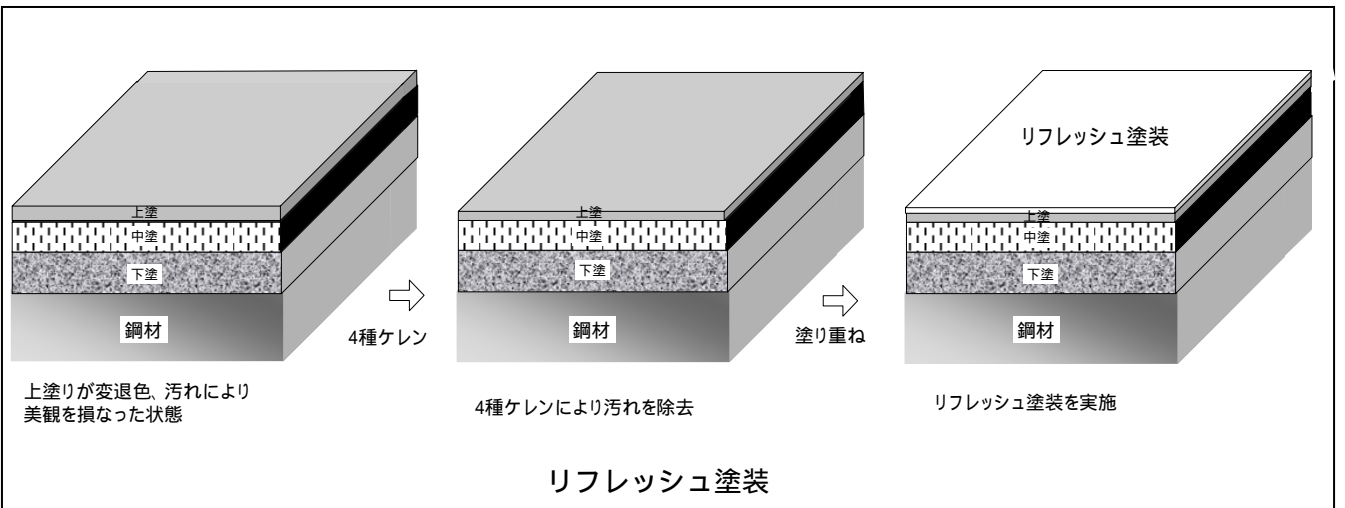
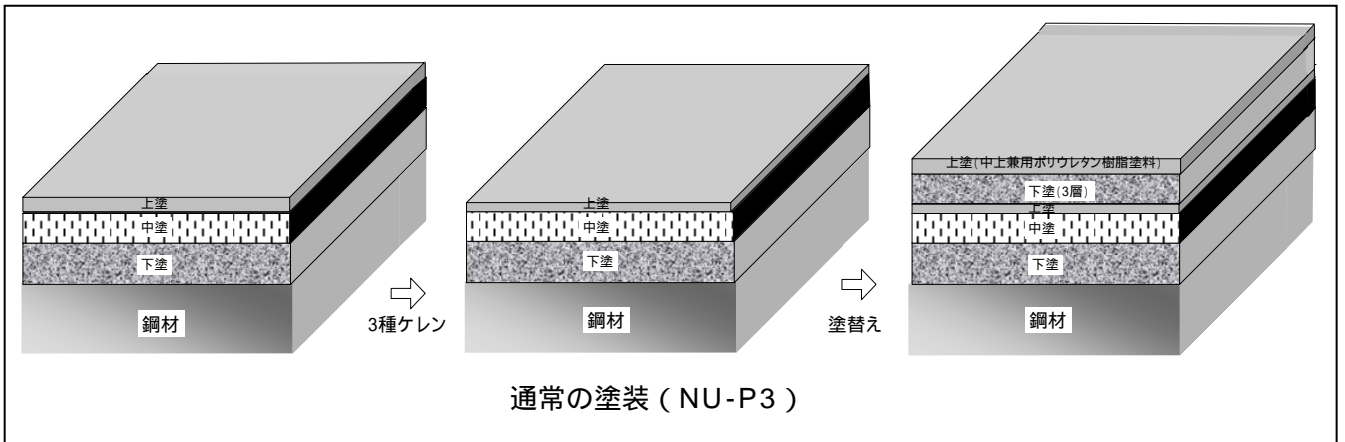


2) 適用対象

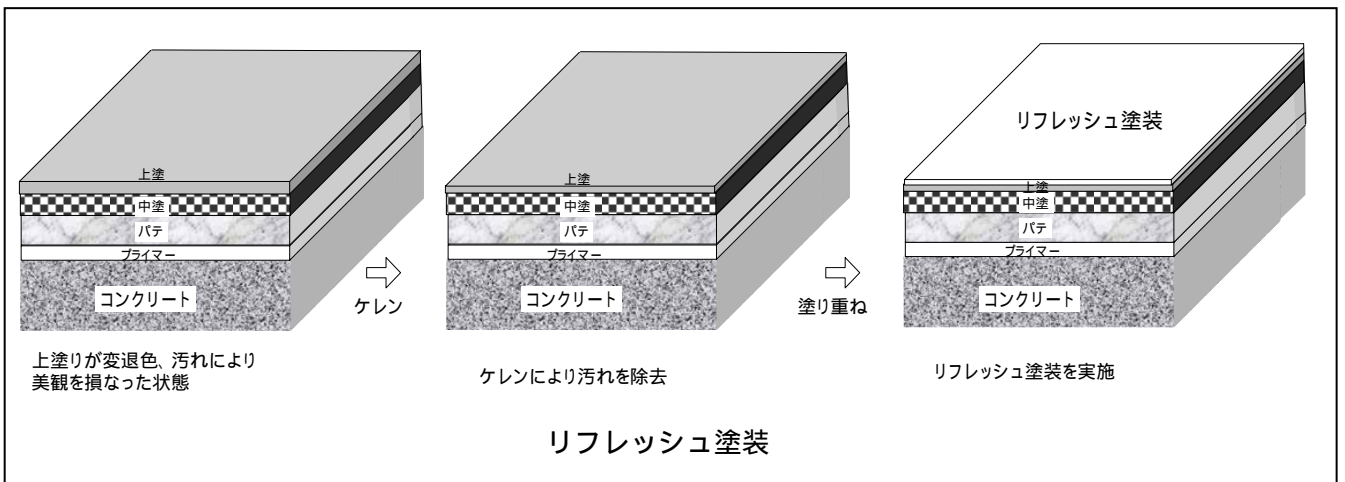
対象構造物：首都高速道路の既設桁および橋脚

3) リフレッシュ塗装の概念図

鋼橋の場合



コンクリート橋の場合



2、評価ステップ

提案頂いた技術の評価

提出技術資料

技術資料の受付

～H22年4月23日

下記の項目のうち、提示できる資料を提出して下さい(表の中の提出する技術資料参照)

ステップ1: 要求性能の評価
(詳細は表1をご覧ください)

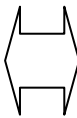
材料特性

- ・ 耐久性に優れていること
- ・ 隠ぺい性に優れていること
- 施工性
- ・ 施工性に優れていること
- 経済性
- ・ 経済性に優れていること
- 維持管理性
- ・ 既設塗装に重ね塗りができること
- ・ 変退色した場合、再度塗り重ねができること
- ・ 塗替え時に容易に塗膜除去できること

その他以下に関する内容があれば提示ください

- ・ その他期待できる効果(防汚など)
- ・ 関連する特許の取得状況
- ・ 有害物質の含有状況
- ・ 塗替え時に必要な資格

- ・ 耐久性が確認できる資料(室内試験結果等)
- ・ 施工実績(過去5年程度)または施工事例がある場合にはこれに関する資料
- ・ 施工歩掛表、単価表
- ・ その他、材料の特性を説明する資料、パンフレットなど



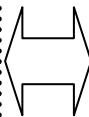
必要に応じてヒアリングを実施し、その結果、現場へ適用可能と判断した技術は、ステップ2に進みます。

H22.6月中旬頃～

ステップ2: 促進試験、試験施工の評価

- ・ 促進試験を実施し、耐久性を実際に確認します。
- ・ 試験施工を実際の桁等で実施し、外観、施工性を実際に確認します。また、既存塗膜との付着を確認するため、試験(アドヒージョン試験等を想定)を実施します。

- ・ 促進試験、試験施工は当社にて実施します。その際は材料の提供等ご協力をお願いします。



総合評価

不採用

現場適用

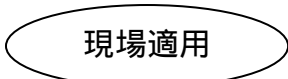
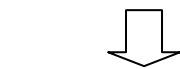


表 1 (要求性能の評価項目)

	共通	鋼橋	コンクリート橋	提出する技術資料
材料特性	耐久性に優れていること	JIS K 5600-7-7(キセノンランプ)により、通算照射時間 500h を実施し、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 膨れ・割れ・はがれがない ・ 見本品と比べ色の变化の程度が大きくない ・ 光沢保持率 70%以上 (JIS K 5600-4-7 による) ・ 白亜化 2 等級以下 (JIS K 5600-8-6 による) を確認をしていること。または、同等以上の性能を有していることが確認できること。	促進試験などにより耐候性が確認できる試験を実施していること	試験結果
	隠ぺい力に優れていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隠ぺい率 白・淡彩色で 90%程度 (JIS K 5600-4-1 による。膜厚については提案する仕様とする) 	室内試験で隠ぺい率を確認していること	
施工性	施工性に優れていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装面で 4 種ケレンを行い、省工程で塗り重ねられること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装面でケレンを行い、プライマー塗布後すぐに省工程で塗り重ねられること 	施工実績(過去 5 年程度)、施工事例等の資料
経済性	経済性に優れていること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材工 600 円/m² 以下(労務費、材料費、機械損料(高所作業車含まず)) ・ 材料費 160 円/m² 以下 		施工歩掛表、材料単価表
維持管理性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設塗装に重ね塗りができること ・ 変退色した場合、再度塗り重ねができること ・ 塗替え時に、容易に塗膜除去できること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「橋梁塗装設計施工要領(首都高速道路(株) 平成 18 年 4 月)」に規定しているふっ素樹脂系(AF-C)、ポリウレタン樹脂系(NU-P2,NU-P3)の上に塗り重ねられること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「橋梁塗装設計施工要領(首都高速道路(株) 平成 18 年 4 月)」に規定しているポリウレタン樹脂系(AS-7)の上に塗り重ねられること 	施工実績、なければ同様の塗装系(ポリウレタン樹脂、ふっ素樹脂)上で塗り重ねをした結果
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他期待できる効果(防汚など) ・ 関連する特許の取得状況 ・ 有害物質の含有状況 ・ 塗替え時に必要な資格 			パンフレット等

3、募集期間

平成 22 年 3 月 31 日から平成 22 年 4 月 23 日まで

4、応募方法

要求性能の評価に用いる技術資料 1 部、電子データ（CD-R）を事前に連絡した上で下記の宛先まで郵送して下さい。

この募集の内容に関する質問などは、下記までお問合せください。

首都高速道路株式会社 技術管理室 設計技術グループ 永田、田中

住所 〒100-8930

東京都千代田区霞が関1-4-1（日土地ビル）

電話 03-3539-9427（受付時間 平日 9:00～17:00まで）

FAX 03-3502-2411